

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
1	全体	渡邊委員	ルビをふるだけでなく わかりやすいやさしい言葉で表さないとわかりません。 一般社団法人スローコミュニケーションのような事業所の方に協力して いただいて作り変えてほしいです。	○表現をわかりやすい言葉に修正しました。 また、第2回までの間に、第1回部会の御意見を 反映させた普及啓発物について、やさしい日本語 の専門家などに御意見聴取ができないか、検討い たします。 参考 東京都障害者差別解消支援地域協議会設置 要綱 （関係者の意見聴取） 第6 協議会は、所掌事項の審議に際し、必要が あると認めるときは、関係者から意見を聴くこと ができる。 ○表の「あなたが配慮を申し出る際に必要なこと は・・・」に3つの表題をつけました。 ①困った（困っている）ことに気付く ②相手に伝えてみる ③話し合ってみる/相談する ○東京都障害者権利擁護センター等の相談先の説 明を追加いたしました。
2		宮田委員	当事者の意見を伺いたいところですが、全体的に抽象的でわかりにくいということが問題だと思いま す。また、自分に必要な「配慮」が非常に個別的であるので、「自分で考えてみましょう」になった のだとは思いますが、そのために何も伝える内容がない書類になっているように思います。 裏面の内容も、対象が違うだけで「考えてください」というスタンスは同じで、手に取った方は、結 局何に使えばいいのかがわからないと思います。 「合理的な配慮の申し出」に関しては、申し出だけなら「ヘルプマーク」等で十分なので、問題は 「合理的な」の部分と「双方で話し合って」の部分だと思うので どちらもそこに特化した内容にしたほうが良いのではないのでしょうか？	
3		荒井委員	知的障害者は、難しい言葉や抽象的な言葉が苦手なため、直感的にわかりやすい言葉が良いと思いま す。 イラストのチョイスが重要かと思えます。 全体的に文字での説明構成になっているので、①②③など視覚的に別な項目として視点がいくような 工夫が必要かと思えます。 東京都障害者権利擁護センターと区市町村の相談窓口のところに、何の相談ができるのか簡単に入れた ほうがわかりやすいのではないかと思います。 東京都障害者権利センター ➡ 例 障害を理由とする差別に関すること	

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
4	表 お店 などで 困ったと きは・・・	渡邊委員	「配慮」「申し出る」 言い回しが難しいです。	お店などで困ったときは・・・ お店の人などに、あなたの障害に応じた配慮を 申し出ることができます。 →お店などで困ったときは、解決するために必要 なことをお店の人などに伝えることができます。
5		宮田委員	個別的過ぎて答えられない	支援者と考えてメモをするなどできるように「自 分が困っていること」、「お店の人などに伝える こと」、「できないと言われたら・・・」を記載 する欄を設けました。
6		荒井委員	配慮の申出は、早めに行うことが重要です。というところでは「早め」とは具体的にどのタイミング が良いのかわからなかったり、言いにくかったりすることがあるかと思います。 例 お店に入ったら・・・など 言いやすいタイミングを載せるのはどうでしょうか？	表 あなたがお店の人などに伝えるときに必要な ことは・・・ ※配慮の申出は、早めに行うことが望ましいで す。 （手話通訳者の派遣等、準備に時間を要する配慮 もあります。） →お店などに入ったら、早めに伝えましょう

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
7	表あなたが配慮を申し出る際に必要なことは・・・	渡邊委員	「配慮」「申し出る」「建設的な対話」 言い回しが難しいのでわかりやすい言葉にしないと伝わらないと思います。	「配慮を申し出る」→「伝える」にいたしました。 「建設的な対話」 ③障害のある方と事業者の双方が建設的に対話を行う ※あなたが求める配慮が事業者にとって重くなる ときは、話し合って、お互いが歩み寄ることが重要 です。 →③お店の人などは、「あなたが伝えたこと」を そのままできないことがあります。 ※話し合って、お互いが歩み寄ることが重要で す
8		宮田委員	どう困っていて、どうしてほしいのかを「合理的に」考えることが、まず難しいのではないかと 結局それでトラブルになるのではないかと	必要があれば、支援者と考えてメモをするなど できるように「自分が困っていること」を記載する 欄を設けました。
9		森下委員	精神障害や知的障害の方が申し出る時 まず、障がいがあります、アンサーでどのような障害ですか？ と言われてから精神障害です。と答えるようにした方が 良いと思いました。はじめに言うのは私でしたら抵抗がありました。	「お店の人などに障害者であることを伝えましょ う」にいたしました。

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
10		渡邊委員	「配慮」「申し出る」 言い回しが難しいのでわかりやすい言葉にしてほしいです。	「配慮を申し出る」→「伝える」にいたしました。
11	裏 配慮 を申し出 るとき は、例え ば、こう 言ってみ ましょう	宮田委員	この事例で、般化させるのは困難ではないか？障害のあるなしにかかわらず、この例示だけで、一般化できるなら、そもそも困っていないのではないか	スペースが限られている中で事例を増やすことは難しいので、次のように、「障害名」ではなく、「困っていること」による分類にいたしました。 「視覚障害のある方」「聴覚障害のある方」・・・ →「見えない（見えにくい）とき」「聞こえない（聞こえにくい）とき」・・・
12		渡邊委員	障害のあるご本人たちに確認してほしいです。	イラストなどを使って話してほしいとき、お店の人などに使っていただけるイラストをハートシティ東京（障害者理解促進事業に係るWebサイト）に掲載しています。（情報保障（知的障害者）のページのQRコード） 令和8年度にハートシティ東京の「障害者への情報提供の方法（情報保障）」のページを充実させることを検討しており、第1回部会で、皆様の御賛同をいただければ、お店の方などが利用できるイラスト（例えば、「お金を払っているイラスト」など）などを掲載して、使っていただくというのはいかがかと考えており、イラスト場面の御提案等を含め、皆様の御意見をいただければと思います。
13	裏 事業者の負担 が少ない 情報保障 等の例	宮田委員	これこそ、各事業者が自分たちで、ケースを積み上げて考えていかなければならない部分で、例示しておけるような話ではないと思います。	
14		荒井委員	・知的障害のある方 商品についてご遠慮なく聞いてください。 ➡イラストや写真を用いる。簡潔でわかりやすく、また理解しているか確認しながら説明を行う。	

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
15	その他	堀江委員	○音声や動画データ等もあるといいと思いました。 ○パンフレットを活用した、キャラバン式研修パッケージ等もあると各支援センター等でも活用できるのではないのでしょうか？	次年度以降の施策の検討で参考にさせていただきます。御意見ありがとうございます。
16		堀江委員	自分の障害について考える時間が足りない パンフレットでは、「お店の人にこう伝えましょう」といった方法が紹介されています。でも、その前に「自分はどんなことで困っているのか」「どんな助けがあると安心できるのか」を整理する時間が必要です。そこが抜けていると、うまく伝えられず、困ってしまうことがあります。	支援者と考えてメモをするなどできるように「自分が困っていること」と「お店の人などに伝えること」を記載する欄を設けました。
17		堀江委員	話し合いの大切さを伝えること 合理的配慮は、「お願いする人」と「対応する人」が一緒に話し合って、できることを考えることが大切です。パンフレットには「こう言えばいい」という例はありますが、「どうやって話し合うか」についてはあまり書かれていません。	支援者と考えてメモをするなどできるように「自分が困っていること」と「お店の人などに伝えること」を記載する欄を設けました。 「建設的な対話」 ③障害のある方と事業者の双方が建設的に対話を行う ※あなたが求める配慮が事業者にとって重くなるときは、話し合って、お互いが歩み寄ることが重要です。
18		堀江委員	お願いするだけではなく、準備や協力も大切 合理的配慮は「お願いすれば必ずしてもらえるもの」ではありません。自分のことを整理して、相手の立場も考えながら、できることを一緒に探すことが大切です。今のパンフレットでは、そのような協力の視点が少ないように感じます。	
19		堀江委員	自分の困りごとを整理するページを入れる たとえば、「音が苦手」「文字が小さいと読みにくい」「長く待つのがつらい」など、自分の特性をチェックできるページがあると、自分に合った配慮を考えやすくなります。	
20		堀江委員	お願いする前に準備できるワークシートを入れる 「どんな場面で困る？」「どんな対応があると助かる？」「もし難しいと言われたら、他にどんな方法がある？」などを整理できるシートがあると、安心して伝えられます。	
21		堀江委員	話し合いの例文を紹介する 「私は〇〇という障害があります。〇〇の場面で困ることがあるので、△△のような対応をお願いしますか？」など、やさしい言葉で伝える例文があると、初めての人でも使いやすいです。	
22		堀江委員	できないことがある場合の説明と相談先の紹介 相手にも事情があります。たとえば「スタッフが少なくて対応が難しい」「設備の変更がすぐにはできない」などです。そんなときにどうすればいいか、代わりの方法や相談できる場所を紹介。	→③お店の人などは、「あなたが伝えたこと」をそのままできないことがあります。 ※話し合って、お互いが歩み寄ることが重要です 必要があれば、支援者と考えてメモをするなどできるように「できないと言われたら・・・」を記載する欄を設けました。

事前にいただいたご意見について

No	項目	委員	内容	修正案
23	その他	堀江委員	働く場面での合理的配慮について パンフレットでは、店舗や公共施設での配慮が中心ですが、職場での合理的配慮も非常に重要です。業務内容の調整、支援機器の導入、コミュニケーション方法の工夫など、働く場面での配慮例を紹介してほしいです。職場での配慮は、本人の能力を活かすだけでなく、職場全体の理解や協力にもつながります。	今回の普及啓発物は、障害者差別解消法の合理的配慮の啓発を目的としています。 令和8年度にハートシティ東京障害者理解促進事業に係るWebサイト）に「障害者向けのページ」を新設することを検討しています。 障害者雇用促進法に基づく相談先の紹介等も検討したいと思います。 御意見ありがとうございます。
24		堀江委員	合理的配慮は「寄り添うこと」とは違うという視点も必要 心情的な配慮も大切ですが、特に職場では「合理的に能力を発揮するための調整」が重要です。環境や業務の工夫によって、働く人が自分の力を発揮できるようにすることが、合理的配慮の本質です。	
25		堀江委員	本人主体であることと支援者の役割 合理的配慮を考えるときは、まず障害による困難さを整理して伝えることが前提です。ご本人が自分で整理したり伝えたりすることが難しい場合は、支援者が代わりに伝えることもあります。ただし、あくまでも本人が主体であることが大切です。支援者は、本人の意思を尊重しながら、伝える手助けをする役割を担います。	